



国際ロータリー第2600地区  
上田ロータリークラブ  
(創立1959年11月12日)

# WEEKLY REPORT

2021-2022年度 国際ロータリーテーマ  
**奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために**



R.I.会長 シェカール・メータ  
国際ロータリー第2600地区 ガバナー 桑澤 一郎

**Rotary**  
Club of Ueda



2021-22年度  
上田ロータリークラブ

- 会長 米津 仁志
- 副会長 金子 良夫・湯田 勝己
- 幹事 柳澤 雄次郎
- 会報委員長 田邊 利江子

## 第2869回例会 (令和4年5月30日) 《 職 場 例 会 》



ホームページQR

**【シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー長 小林弘憲様 紹介】**

職業奉仕委員会 林 秀樹 委員長

本日は梶子ワイナリー様にて  
職場例会を行わせていただきます。  
ワイナリー長の小林弘憲様  
のご紹介をさせていただきます。



メルシャン株式会社 生産・SCM本部  
シャトー・メルシャン 梶子 ワイナリー長 小林弘憲 様

■ 博士(工学)

■ エノログ

(ワイン醸造技術管理士:一般社団法人葡萄酒技術研究会)

■ ソムリエ(一般社団法人 日本ソムリエ協会認定)

■ 山梨大学 非常勤講師(2012~)

■ 日本ブドウ・ワイン学会 理事(2015~)

■ 山梨大学ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム  
開発委員(2015~)

■ 一般社団法人葡萄酒技術研究会 企画委員(2016~)

■ 長野県ワイン協会理事(2021~)

### 【略歴】

■ 1999年 メルシャン株式会社中央研究所第一研究室入社

■ 2010年 メルシャン株式会社

シャトー・メルシャン製造課兼技術係

■ 2011年 山梨大学大学院工学研究科博士

後期課程環境社会創生工学専攻修了

■ 2017年 メルシャン株式会社

生産・SCM本部生産部生産企画グループ

■ 2019年 メルシャン株式会社

シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー長

現在に至る

### 【受賞歴・審査員歴】

■ 2005年 日本ブドウ・ワイン学会技術賞

■ 2011年 日本ブドウ・ワイン学会論文賞

■ 2017年 日本醸造学会技術賞

1999年メルシャン入社。その後ワイン研究の道に進み、ボルドー大学やオーストラリア他、世界で醸造技術を学ぶ。2003年の仕込み時期に様々な試験醸造を行う中、甲州フドウから今まで感じることでできなかった柑橘系のアロマを感じるキュヴェを発見。そこから生み出された『甲州きいろ香』のまさに生みの親の一人。甲州ワインの特徴香の研究で博士号取得。2010年シャトー・メルシャン製造課兼技術係に着任。2016年まで、サイエンスとポエムを融合させた、新しいワイン造りを目指した仕込みを行う。2017年から2年間、本社生産部を経験し、桔梗ヶ原ワイナリー、梶子ワイナリーの計画・建設に携わる。2019年4月より梶子ワイナリー長兼農地所有適確法人ラ・ヴィーニュ株式会社に従事。栽培から醸造まで一貫したワイン造りを探究する。

※SCM(サプライチェーンマネジメント)「サプライチェーン」とは、原材料が調達されてから商品が消費者に渡るまでの生産・流通のプロセス

### 【会長挨拶】

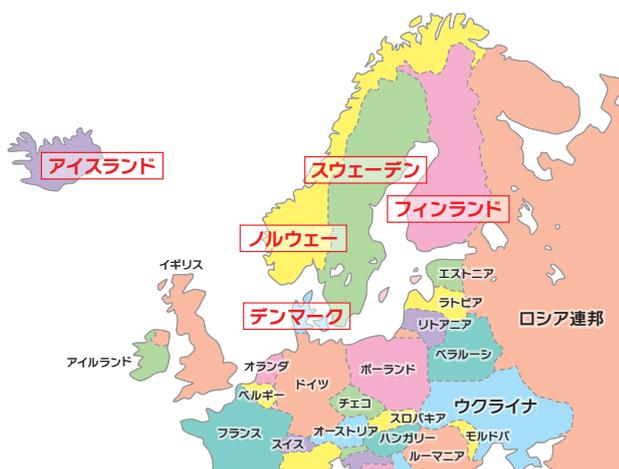
米津仁志 会長

みなさん、こんにちは。本日は職場例会です。上田が誇るシャトーメルシャン 梶子ワイナリーさんにお邪魔しております。今日は天気がよくてぶどう畑の眺望がすばらしいです。素敵なワイナリーですね。小林ワイナリー長、本日はお世話になります。誠にありがとうございます。



訃報です。出田行徳会員のご母堂、出田成子さまがご逝去されました。慎んでお悔やみを申し上げますと共に、心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、ロシアのウクライナ侵攻に関して、スウェーデンとフィンランドのNATO加盟が話題になりました。日本から見ていると、北欧の国々は雰囲気似ていて分かりづらいですね。今回は北欧諸国の特徴を調べてみました。



まず、北欧理事会という組織があります。これは第二次世界大戦で北欧各国の動きがばらばらだったことを反省し、1952年に設立された組織です。ノルウェー(538万人)、スウェーデン(1035万人)、フィンランド(553万人)、デンマーク(583万人)、アイスランド(37万人)の五カ国と3地域で構成されています。()内は人口です。

スカンジナビア半島は、ヨーロッパで最大の半島で、ノルウェー、スウェーデン、フィンランドの三国が位置しています。しかし、スカンジナビア三国といいますと、ノルウェー、スウェーデン、デンマークを指します。スカンジナビア航空もその三国の出資で成り立っており、それぞれの国のナショナルフラッグキャリアとなっています。

一方、フィンランドだけは他の国とはやや異なる特徴もっています。フィンランド語は、ノルウェー語、スウェーデン語、デンマーク語などゲルマン語系の言葉とは違い、ウラル語系の言葉です。エストニア語、トルコ語、ハンガリー語などに似ているそうです。ナショナルフラッグシップはフィンエアです。日本でも人気のある絵本のムーミンが生まれた国としても有名です。

また、歴史的には、スウェーデンの配下(1155～1809)、ロシアによるフィンランド大公国(1809～1917)という不遇な時代があり、1917年に独立しました。第二次世界大戦ではソ連に対抗するために枢軸国側として戦い、カレリア地方を割譲させられています。

一人当たりGDP(USドル、2021年)は、ノルウェー89,090、デンマーク67,758、スウェーデン60,029、フィンランド54,009、日本39,340ですから、どの国も大変裕福であると言えます。特にノルウェーは北海油田の権益があり、そのおかげで(と言っていいのかわかりませんが)新車のうちEVは6割を占めると言われ、世界で最もEVの普及が進んでいます。

過去の歴史の経過からロシアの顔色を窺ってNATO加盟をためらっていたフィンランドと、中立を保ってきたスウェーデンが、ここにきてNATOへ加盟申請をしました。地政学が大きく変化する出来事ではないでしょうか。

長野県の新型コロナウイルスの感染状況は改善し、すべての圏域の感染レベルが3以下になりました。以下の情報は私がインターネットから収集したものですので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症の10万人当たりの新規感染者数は5月20日から5月26日の一週間の値で、長野県全体は125.68人(146.43人)、上田圏域は70.13人(120.16人)、佐久圏域が72.89人(180.02人)、長野圏域137.03人(167.44人)、南信州が105.57人(162.21人)、北アルプス圏域216.95人(122.70人)です。木曾圏域は145.23人(31.40人)です。カッコ内は5月6日～5月12日の値です。

全国的には、全国平均で168.77人(205.68人)、大阪197.16人(245.88人)、東京159.36人(199.99人)、沖縄812.63人(978.1人)、石川県249.51人(267.45人)、富山県112.28人(124.38人)です。5月21日から27日の値です。()内は5月6日～5月12日の値です。

一人が何人に感染させるかを示す実効再生産数は、全国平均で1月9日に5.9人でピークを打ち、5月27日には0.95です。なかなか下がりません。長野県は、1月8日に4.62人でピークとなり、5月27日で0.95人(5月12日は1.09人)長野県内の5月12日現在の重症者は0人で、重症者ゼロが続いています。

海外につきましては、アメリカが219.52人(185.58人)、フランス137.41人(378.68人)、韓国が251.96人(511.26人)、イギリスが57.77人(104.20人)、ドイツが238.59人(532.33人)、南アフリカ44.11人(88.2人)、中国2.07人(4.39人)です。5月27日現在の値で、カッコ内は5月12日の値です。国によってばらつきがありますが、改善しています。データは札幌医大フロンティア医学研究所のサイトから引用しています。

さて、ドラッカーの『経営者の条件』から、成果を上げるための五つの条件(時間、貢献、強み、集中、意思決定)をご紹介します。今日はそのうちの「強み」について読んでみます。

“成果をあげるには、人の強みを生かさなければならぬ。弱みからは何も生まれない。結果を生むには利用できるかぎりの強み、すなわち同僚の強み、上司の強み、自らの強みを動員しなければならない。強みこそが機会である。強みを生かすことは組織に特有の機能である。

鉄鋼王アンドリュー・カーネギーが自らの墓碑銘に刻ませた「おのれよりも優れた者に働いてもらう方法を知る男、ここに眠る」との言葉ほど大きな自慢はない。これほど成果をあげるための優れた処方はない。カーネギーの部下たちは、それぞれの分野において優秀だった。それは彼が部下の強みを見出し仕事に適用させたからだ。もちろん、最も大きな成果をあげたのはカーネギーだった。

強みを生かすことは、行動であるだけでなく姿勢でもある。しかしその姿勢は行動によって変えることができる。同僚、部下、上司について、「できないことは何か」でなく「できることは何か」を考えるようにするならば、強みを探し、それを使うという姿勢を身につけることが

できる。やがて自らについても同じ姿勢を身につけることができる。

成果に関わるすべてのことについて、機会を育て、問題を立ち枯れにしなければならない。特にこのことは人事についていえる。自らを含め、あらゆる人を機会として見なければならない。強みのみが成果を生む。弱みはたかだか頭痛を生むくらいのものである。しかも弱みをなくしたからといって何も生まれはしない。弱みをなくすことにエネルギーを注ぐのではなく、強みを生かすことにエネルギーを費やさなくてはならない。”

P.F.ドラッカー『経営者の条件』  
p102-135より抽出、編集して引用

どなたであろうと、個人にはそれぞれの特徴として、強みや弱みがあります。一人で仕事をするのであれば、強みはよいとしても、弱みも如実に表れてしまいます。しかし、組織は個人の弱みを消し、強みをより強く生かす機能があります。例えば、数字に強い人は経理を担当し、交渉力があり親しみやすい人は営業を担当し、手先が器用な人は製造を担当します。このように組織は分業であるがゆえに各人の強みを生かすことが出来るのです。

墓碑銘が示す通り、カーネギーは人の強みを利用して大きな成果を上げました。各人の強みを生かすことで、組織はより大きな成果を上げることが出来るようになるのです。

今回は「集中」を読んでみます。本日はありがとうございました。みなさまどうぞご自愛ください。

#### 【シャトー・メルシャン 椀子ワイナリー長様 ご挨拶】

小林弘憲 様

本日は皆様シャトー・メルシャン 椀子ワイナリーにお越しいただきまして本当にありがとうございます。このワイナリーは「地域・自然・未来との共生」をコンセプトにして運営しています。



#### ●「地域の共生」について

「椀子ワイナリー」は2003年に開園してから2019年にかけては畑しかありませんでした。設備投資や事業などのタイミングを図る為16年間は畑しかありませんでした。そして2019年にワイナリーをオープンし、地域の皆様と特に上田丸子地域の皆様を中心に栽培の管理をしていただいております。収穫や植付け植樹など、地域の皆様と一緒に成長しながら運営をしています。

#### ●「自然の共生」について

造成工事をしたり、下草を刈ったり、ブドウの木を栽培したり、そうゆうのを通じて日本の里山の再生につながっているという話を研究している方からいただいております。

実は今、日本中で耕作放棄が多くていろんな所で遊休荒廃してしまっています。そうなる前昔日本の田んぼや畑などで生息していた在来種といわれる蝶々や鳥がどんどん外へ逃げてしまいます。

我々が管理をすることで、昔からいた生物や植物が戻ってきています。食物連鎖ですね。植物が戻ってくると昆虫が戻ってくる。昆虫が戻ってくると鳥が戻ってくる。年間を通して何回か調査をしていただいております。植物の種類、昆虫の種類、鳥の種類が年々多くなっている報告を受けています。

我々としては、この環境を普通に維持管理することが日本の里山の再生につながるということで自然と共生いたしております。

#### ●「未来との共生」について

ブドウ畑は、ブドウを植えてから収穫できるまで5年、6年かかります。その後ワインにしてまた2年3年。十分な量が収穫できて質も良くなるまでには10年くらいは必要になります。次世代への資産として、世代交代をしながら100年200年つないでいかなければいけません。地元の小学校や中学校、高校の子どもさんたちに、農業体験やブドウ栽培、職場体験などとおして、地域の子どもの育成に、近くの学生さんにはツーリズムの勉強の場としてもらうことで未来との共生につながっています。

#### 【シャトー・メルシャン 椀子ワイナリー見学ツアー】

- ブドウ畑マップ説明
- ブドウ畑説明
- 椀子ワイナリー 醸造施設・樽庫見学



**【幹事報告】**

柳澤雄次郎 幹事



1. 地区事務所  
 コーディネーターニュース6月号  
 国際ロータリー第2600地区  
 ガバナーノミニ・デジグ  
 ネット(2024-2025年度ガバナー)  
 決定宣言  
 新旧合同会長・地区チーム会議及び懇親会のご案内  
 2022-2023年度(2023-2024年度派遣)長期青少年交換  
 派遣学生募集要項  
 ロータリー財団寄付明細表(2022年4月)  
 米山記念奨学会  
 ①寄付金納入明細総合表(2022年4月)  
 ②寄付金納入明細表(2022年4月)  
 ③表彰一覧(2022年4月)  
 ④寄付金傾向(2022年4月)  
 上沢年度「POLIO-DAY」について
2. 小諸RC IM・会員セミナー登録料返済のご案内
3. 長野西RC  
 第29回インターアクト地区大会開催要綱
4. 長野RC 創立60周年記念式典・祝賀会のご案内
5. 松本空港RC  
 「第32回RYLA in Matsumoto」開催の御礼
6. 松本西南RC 創立50周年記念誌 送付のご案内
7. 豊かな環境づくり 上小地域会議  
 令和4年度豊かな環境づくり上小地域会議表彰の  
 受賞者決定について(通知)  
 令和4年度(2022年度)きれいな信州環境美化運動  
 「ごみゼロの日」統一美化キャンペーンの啓発資材の  
 送付について(通知)
8. 小さな親切運動本部 小さな親切 春号
9. 会報恵送 松本西南RC

**【ニコニコBOX】** 櫻井雅文 委員長・中村邦彦 副委員長

伊藤典夫さん 内河利夫さん  
 小幡晃大さん 柄澤章司さん  
 小山宏幸さん 齊藤達也さん  
 酒井喜雄さん 酒巻弘さん  
 鳥田甲子雄さん 関啓治さん  
 滝沢秀一さん 田邊利江子さん  
 林秀樹さん 比田井美恵さん 布施修一郎さん 増澤延男  
 さん 矢島康夫さん 柳澤雄次郎さん 米津仁志さん  
 櫻井雅文さん 中村邦彦さん



本日喜投額 21名 ￥ 24,000  
 累計 ￥1,733,000

**【例会の記録】**

- 司会：関 宇陽 委員長  
 斉唱：ロータリーソング「奉仕の理想」
- 職場例会内容およびワイナリー長小林弘憲様紹介  
 職業奉仕委員会 林 秀樹委員長
  - 会長挨拶
  - 幹事報告
  - シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー長 小林弘憲 様ご挨拶
  - ワイン工場見学

**【ラッキー賞】**

滝沢秀一さん  
 (関啓治さんより、星野リゾート 奥入瀬溪流ホテルの  
 ショコラ)  
 米津仁志会長  
 (関啓治さんより、星野リゾート 青森屋のお菓子)



**【出席報告】**

関 宇陽 委員長



	本日	前々回 (5/9)
会員数	61	62
出席ベース	52	56
出席者数	37	45
出席免除(b) ( )内は出席者数	11(2)	11(5)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ( )内はMake up後		0(45)
出席率	コロナ禍の為 100	コロナ禍の為 100

**【次回例会予定】**

6月20日(月) 入会セレモニー  
 役員・理事退任挨拶  
 「ロータリーの友」紹介

(6月13日発行)

【会報担当】 田邊利江子 委員長

**例 会 風 景**

